

## 2019年度 茨城県看護研究学会 要綱

- 1 目的 : 看護職の実践に根ざした学術研究の振興を通して、看護の質の向上を図り、人々の健康と福祉に貢献することを目的に、表題の看護研究学会を開催いたします。
- 2 開催日 : 2019年12月21日(土)
- 3 会場 : 茨城県立県民文化センター
- 4 演題募集
  - 1) 応募資格 発表者は2019年度茨城県看護協会会員であること
  - 2) 研究内容 看護に関するもの全領域、未発表のものに限る
  - 3) 発表形式
    - (1) 種類 ① 口演パワーポイント使用  
② 示説
    - (2) 発表時間 ①口演1題7分  
②示説1題7分
  - 4) 応募方法(提出書類)
    - (1) 看護研究演題申込書<様式16>
    - (2) 抄録原稿(1部は所属・氏名を記入、もう1部は所属・氏名を無記入(査読用)とし、計2部提出すること)
    - (3) 抄録原稿チェックリスト<別添1>
    - (4) 看護研究における研究倫理チェックリスト<別添2>
  - 5) 応募期間 2019年7月8日(月)~26日(金)必着 ※FAX不可
  - 6) 提出先 茨城県看護協会学会委員会  
〒310-0034 水戸市緑町3-5-35  
TEL 029-221-6900
- 5 一般参加 : 2019年度茨城県看護研究学会一般参加申込書<様式17>に必要事項を記入し、FAXまたは郵送してください。
- 6 応募期間 : 2019年10月7日(月)~11月8日(金)
- 7 参加費 : 会員 3,000円(抄録のみ2,000円)  
非会員 6,000円(抄録のみ4,000円)  
学生 1,000円  
※申し込み後お振込みをお願いいたします。  
お振込みは研修同様、郵便振替にてお願いします。
- 8 抄録原稿
  - 1) 原稿をそのまま印刷するため、抄録原稿見本を参照し作成する。
  - 2) 抄録は原稿作成の手引きに沿って作成する。
  - 3) 倫理的配慮は必ず明記する。
- 9 選考方法
  - 1) 抄録ごとに査読審査を行う。
  - 2) 査読審査結果をもとに、採択・不採択を決定する。
- 10 その他
  - 1) 資料の当日配布はできない。
  - 2) 提出された原稿は返却しない。

## I 応募から発表までの流れ

月 日		項 目
7月	8日	演題応募 開始
	26日	演題応募 締切
8月	中旬	抄録査読（査読者による）
9月	中旬	査読結果 送付 （査読後修正が必要なものについては、コメントも送付）
	下旬	抄録修正 締切
10月	中旬	採否決定 ・ 発表形式通知
11月	中旬	パワーポイントデータ（口演） 締切  ＜締切後の変更は受けません＞
	下旬	入金確認後、抄録集配布
12月	21日	看護研究学会

## II 抄録原稿作成の手引き

### 1 書式

- 1) すべてを横書きでA4用紙3枚以内に記載する。
- 2) 表題・キーワード・所属施設名・発表者名・共同研究者名は1段で記載する。
- 3) 発表者の氏名の前に○印と発表者の氏名にふりがな（ルビ）を付ける。
- 4) 本文は2段組で、はじめに・研究目的・研究方法・倫理的配慮・結果・考察・結論・引用文献をA4用紙3枚以内（図表を含む）にまとめる。
- 5) 図表は白黒印刷で判断できる明瞭なものを作成する。
- 6) 原稿は下記の条件で書式設定を行い作成する。
  - ア. 一行の文字数 2段組み 23文字
  - イ. ページの行数 42行
  - ウ. 文字の大きさ テーマ…14ポイント（1行目）  
サブテーマ…12ポイント（2行目）  
所属（部署名は入れない） ・発表者・共同研究者  
・キーワード…10ポイント  
本文…10ポイント
  - エ. 字体 MS明朝
  - オ. 余白 上部・下部・左右ともに…20mm
  - カ. キーワードは3～5個程度入れる。
  - キ. 句読点は「。」、「、」で記述する。
  - ク. 図表はタイトルと番号を付け、図のタイトルは下に、表のタイトルは上に表示する。
  - ケ. 単位は明確に記載する。単位以外の略字は用いない。略字を用いる場合は初めに正式名称を書き、その後省略する。 例) □□□□□□（以下□□□とする）

## 2 抄録の記載形式

### 1) 形式

<p>I はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• なぜこのような研究に取り組んだかの動機、意義、問題の背景、問題設定の理由など、このテーマを選択した理由を説明する。</li><li>• テーマに関係する先行研究の紹介</li><li>• 自分と研究の関係</li></ul> <p>II 研究目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 研究の目的・仮説を明快にわかりやすく述べる。「どのような立場から、誰を対象に、何を、どこまで、どのような方法で明らかにするのか」</li></ul>
<p>III 研究方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 1 調査期間：.....</li><li><input type="checkbox"/> 2 対象：.....</li><li><input type="checkbox"/> 3.....</li><li><input type="checkbox"/> 1).....</li><li><input type="checkbox"/> (1).....</li><li><input type="checkbox"/> ①.....</li></ul> <p>IV 倫理的配慮</p> <p>V 結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 事実を書くのであり、解釈（考察・感想）は書かない 「～の結果・図表・図表の説明・図表の読み・検定結果」</li></ul> <p>VI 考察</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 結果を解釈し、そこから知見を引き出す</li><li>• データから言えること、仮説に対する答え、先行研究との比較検討、問題点など</li><li>• 結果で記述しないことは考察できない</li></ul> <p>VII 結論（箇条書きとする）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 考察から言えること、仮説の答え、この研究でわかったこと</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 1.....</li><li><input type="checkbox"/> 2.....</li></ul> <p>引用文献（必ず記載する）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1).....</li></ul>

## 3 文献記載形式

- 1) 文献は本文原稿の最後に引用文献と参考文献を区別して記載する。
- 2) 引用文献は引用番号順に、参考文献は著者名のアルファベット順に列記する。
- 3) 引用文献は、引用順に番号をつけ、本文引用箇所にも右肩上ついで番号をふる。  
例) ○○ら<sup>1)</sup>

## 4 文献の記載方法

- 1) 著者は筆頭から3名を挙げ4名からは「他」と記す。
- 2) 文献での句読点は「.」「,」とし、英数は半角とする。
- 3) 記載の最後はピリオド「.」で閉じる。

#### <雑誌>

番号) 著者名: 表題, 雑誌名, 巻(号), 始ページ-(ハイフン) ページ, 発行年(西暦).

例 1) 茨城太郎, 水戸花子, 徳川緑子他: 看護研究における研究者の倫理観,  
茨城看護雑誌, 3(4), p.524-531, 2014.

#### <書籍>

番号) 著者名: 書名, 引用箇所の始ページ-(ハイフン) ページ, 出版社, 出版地, 発行年(西暦).

例 2) 偕楽梅子: 看護研究をはじめよう, p.63-70, 茨城看護出版社, 茨城, 2007.

#### <分担執筆>

番号) 著者名: 表題, 編者: 書名, 引用箇所の始ページ-ハイフン-ページ, 出版社, 出版地, 発行年(西暦)

例 3) 大洗海子: 楽しくすすめる看護研究, 筑波山男: 看護研究のススメ, p.20-30,  
茨城看護出版社, 茨城, 2014.

#### <電子文献>

番号) 著者名: タイトル, 入手日, アドレス

例 3) 茨城県看護協会: 看護協会とは, 2014-5-27,  
<http://www.ina.or.jp>

## 5 文章の記述

### 1) 倫理的配慮とその記述について

- (1) 研究対象者へは研究内容の説明をし、対象者の自由意思で諾否が決められるように配慮し、承諾を得られた旨を明記する。
- (2) 倫理委員会若しくはそれに代わる会の承諾を得ていることを明記する。
- (3) 研究対象者のプライバシーへの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにする。
  - ・固有名詞(当院・当病棟も含む)・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すのに必要な場合のみにし、掲載することで研究対象者が特定できないように十分配慮し、承諾を得られた旨を明記する。
- (4) 研究への参加によって対象者の不利益や負担が生じないように配慮し、その旨を明記する。
- (5) 文献から図・表や本文を引用する場合は、著作権に配慮し出典を明記する。
- (6) 既存の尺度を使用する場合は著作権から許諾を得ていることを明記する。

## 6 研究における倫理的配慮とその記述方法(2019年度日本看護学会実施要綱より抜粋)

### 1) 先行文献を調べて活用していますか?

すでに研究結果が出ているテーマを繰返し研究することは倫理的に問題があると考えられます。そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「はじめに」、「考察」で適切に引用しましょう。「日本看護協会ホームページ>キャリアナース」には文献データベース「最新看護索引 Web」「J-Dream III」があり、『日本看護学会論文集』(第42回より)の全文PDFも公開されています。ぜひ活用してください。

### 2) 研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮していますか?

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定さ

れ、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞(当院・当病棟も含む)・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。

### 3) 研究対象者の個人情報保護していますか？

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、不必要な個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関与しない個人情報は記載しません。個人情報の取扱いは、個人情報保護法、「看護研究における倫理指針」(日本看護協会、2004年)、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(個人情報保護委員会・厚生労働省、2017年)、「看護者の倫理綱領」(日本看護協会、2003年)、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省、2017年一部改正)および所属施設の規定に従ってください。

### 4) 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載していますか？

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表について同意を得たことを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば入院患者に対し無記名で看護ケアの質評価の依頼をしても、自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業中に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行うことは、自由意思を損なうことにつながりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合は、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

看護師へのインタビューを行う研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得る必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得られない場合には、家族もしくは病院の倫理委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも、可能なかぎり研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理委員会等での同意が必要となります。

### 5) 倫理委員会での承認を受けたことを記載していますか？

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理委員会等で承認を受けていることを明記してく

ださい。倫理委員会がない場合にはそれに相当する決定機関など、複数の第三者による組織的了解を得ていることを明記してください。研究の実施だけでなく、結果の公表（発表）に関しても、研究対象者および研究施設の承諾が必要です。抄録では研究対象施設名を A 病院というように匿名化しますが、倫理委員会の名称は匿名とはせずに実名を用いて正確に表記します。しかし、倫理委員会の実名を表記することで研究対象者が特定される可能性がある場合には、『所属施設の倫理委員会』等の表記としてください。

#### 6) 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載していますか？

倫理委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対策（中止基準の設定等）、研究データの取扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

#### 7) 著作権等の侵害がないように配慮していますか？

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）を明記します。図・表は転載許諾を得た上で出典（文献）を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合はOR を記載してください。

#### 8) 利益相反の有無について明記していますか？

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益（得られる成果を社会へ還元する）と私的利益（個人が取得する金銭、地位、利権など）が研究者個人の中に生じる状態のことを指します。看護研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。

しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料（発表資料、抄録、論文等）に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

例) <利益相反がある場合>本演題発表に関連して、過去 1 年間に△△社から研究者所属の看護部への委託研究費・奨学寄付金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。

<利益相反がない場合>本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。



<別添1>

## 『抄録原稿チェックリスト』

	施設名	発表者	
	項 目		✓欄
1	テーマの字体はMS明朝太字・文字サイズは14ポイント、サブテーマの字体・文字サイズはMS明朝12ポイント、本文の字体・文字サイズは、MS明朝で10ポイントになっている（太字は使用しない）		
2	テーマ・サブテーマは、センタリングになっている		
3	サブテーマは、はじめとおわりに、— —がついている		
4	所属施設名の文字のはじまりと、発表者の○の位置が揃っている		
5	発表者の氏名の前に○印と発表者の氏名にふりがな（ルビ）がついている [ ○水戸梅子 茨城花子 緑町協子 ]		
6	共同研究者の中に研究責任者の名前が記入されている		
7	キーワード：△△△ △△△ △△△でセンタリングになっている		
8	テーマ（サブテーマ）と施設名・研究者名とキーワード・キーワードと本文の間は、それぞれ1行ずつ空いている		
9	本文（はじめに、方法・倫理的配慮、結果、考察、まとめ）がA4用紙3枚以内にまとまっている		
10	本文は2段組になっており、抄録はA4版3枚にまとまっている		
11	大見出し・見出しの数字は正しく付されている [ I II 1.2. 1) 2) (1) (2) ①② ]		
12	本文・図表等は、白黒印刷で判定できる明瞭なものになっている		
13	固有名詞（当院・当病棟を含む）を使っていない		
14	倫理的配慮について明記している		
15	引用文献を記載している		
16	引用文献の文献番号が右肩上つきで記載されている [ 〇〇ら <sup>1)</sup> ]		
17	外枠・中央線は入っていない		
18	上余白 ・ 下余白 ・ 左右の余白 が20mm とってある		
19	抄録は2部ある		
20	看護研究における研究倫理チェックリストをチェックし、所属責任者の確認がとれている		
21	看護研究学会応募用紙の記載はできている		
22	未発表のものである		





<様式16>

西暦 年 月 日

## 茨城県看護研究学会演題申込書

応募（発表）者 ふりがな 氏名 \_\_\_\_\_ 会員番号（県） \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

所属施設名（正式名称） \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

申込者連絡先 \_\_\_\_\_ 部署 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

【演題名】

【キーワード】 （研究内容を表すキーワードを3～5個あげてください）

【発表形式】 希望する番号に○をつけてください

1  口演                      2  示説                      3  どちらでもよい

【書類提出】

- 1 看護協会演題申込書<様式16>
- 2 抄録原稿（1部は所属・氏名を記入、もう1部は所属・氏名無記入（査読用）とし、計2部提出すること）
- 3 抄録原稿チェックリスト<別添1>
- 4 看護研究における研究倫理 チェックリスト<別添2>

※抄録は、茨城県看護協会ホームページ（<http://www.ina.or.jp>）掲載の看護研究会募集要綱をご覧ください。

<様式17>

西暦 年 月 日

## 茨城県看護研究学会一般参加申込書

施設名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_ TEL ( ) \_\_\_\_\_

No.	氏名	会員番号(県)	非会員	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※発表者は氏名前の番号に○印をつけてください。

抄録集のみを希望する方

No.	氏名	会員番号(県)	非会員	冊数
1				
2				
3				

個人情報の取り扱い：本研修申込みで得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはありません。